

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371500915
事業所名	グループホーム やすらぎの里梅森坂

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） ホームの理念でもある「支え合い、一緒に暮らそうこの町で」に向けて、地域への浸透に努力している。町内会に加入し、地域向けホーム便りを回覧板に掲載している。民生委員の尽力により、地域の運動会・高齢者向けの昼食会にも参加できるようになった。中学校の福祉学習体験も受け入れている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 民生委員、地域包括支援センター職員、他のグループホーム職員、入居者及びその家族、ホーム職員をメンバーとし、今年度も6回の開催が確認された。地域包括支援センターに年2回参加してもらうことを今年度の目標に掲げ、開催曜日も変更し、達成した。困難事例を話し合う「ひもときシート」での結果を毎回運営推進会議で報告し、家族の安心を得ている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 市開催の研修会に参加し、実地指導も受け、サービス内容変更時、料金改定時など電話で相談している。ホームに空き室が出れば区に情報提供している。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族会はないが運営推進会議には必ず家族が参加し、質問にはその場で回答している。家族から要望があれば介護計画に反映させている。ホーム便りは地域版とは別に家族用が作成され、一人ずつ毎月の写真やエピソードが掲載され、家族にも好評である。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。		○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	○	○			

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。